

# 入院診療計画書② 1泊2日電気ショック

患者氏名 氏名 様 主治医名 氏名

患者ID 患者ID 看護師名 担当看護婦

新規作成 新規作成日

日付				1日後
	術前	術中	術後	
目標	医師の説明・看護師からの説明を受け、治療に対する知識を持ち、治療に対する不安を軽減することが出来る。術前の身体的準備が出来る。	検査に対する不安が軽減でき、安全・安楽に手術を受けることができる。	必要な安全を守ることが出来、合併症を起こさず経過できる	合併症なく、退院する事が出来る。
投薬	自宅で飲んでいた薬をお預かりします。入院中は変更が多いため看護師が管理いたします。			退院後の治療計画
注射	病室で点滴を始めます(13時頃実施予定の方は入院後まもなく行います)	麻酔のお薬を使用します。治療時間は30分から1時間程度です	検査後、意識レベルが完全に回復したことを確認し、点滴は終了となります	<b>内服・定期受診は、入院前と同様継続して下さい</b> <b>自己検脈(自分で自分の脈を測定する事)を習慣にすることで、心房細動の発作に早期に気付く事が可能です。発作を自覚した際は、その日付、発作の持続時間、自覚症状などを把握し、受診時に医師に伝えるようにしましょう</b> <b>発作による苦痛が強い時には、受診するようにしてください</b>
検査	検体検査	血液検査があります		
	生理機能検査	食道を通じて、血栓の有無を調べる超音波(経食道エコー)があります	心電図を使用しながら、電気ショックを行います	
処置	電気ショックのパッチを装着するため、上半身は下着も着用せず、検査着のみを着用します。下半身は、下着・パジャマのズボン着用のままでかまいません	電気ショックを行う際には、薬を使用し意識のない状態で治療を行います。必要時に手足を固定する場合があります	意識レベルが完全に回復するまでは、看護師にて安全を確保していきます	
食事	当日の朝食は8時までに済ませて下さい 以後は指示があるまで飲んだり食べたりできません 喉の渇きが強いときはうがいなら可能です	治療が終了するまで、絶飲食になります	経食道心エコーや電気ショックによる麻酔から完全に覚醒しているようであれば、飲水・食事が可能となります。特に制限はありません	
排泄	排泄の制限はありません。ご自由にトイレを使用して下さいかまいません		意識レベルが安定して入れば、ご自由にトイレを使用して下さい構いません	
活動・安静度	手術前までは原則制限はありませんが、検査・手術に呼ばれる可能性がある為、病棟を長時間離れることはご遠慮ください。また病棟を離れる際は看護師に声をかけてください。	検査台は狭いので、看護師がお声を掛けるまでは、ご自身のみで動く事のないようご協力ください	意識レベルが改善していれば、病院内を自由に歩いていただいて構いません しかし、心電図モニターは病棟内しか受信できないため、長期間病棟を不在にすることはご遠慮ください	退院後の療養上の注意点
リハビリ	今回の入院では、リハビリは必要ありません。	→		日常生活・事務・家事は退院後すぐに可能です 今回の入院において、とくに退院後の制限はありませんが、医師から個別で説明された際は、ご協力ください
観察	身長・体重を測定します。	看護師が近くにおりますので、気分不快などがありましたら教えて下さい。		
説明・指導	医師・看護師から治療の説明があります。 入院案内・転倒転落のビデオをご覧ください。 薬剤師から持参薬の確認があります。 家族の方は検査が終わるまで病室、またはデイルームでお待ち下さい。 マニキュア・補聴器・入れ歯・指輪・眼鏡・コンタクトレンズなどの装飾品、は、外してご家族の方へ預けて下さい。		検査終了後、ご家族と面会していただきます。 手術終了後から退院までに医師より結果についての説明があります。ご家族の方も一緒にお聞き下さい。	10時前後にお預かりしたお薬と退院後お薬、診察券、会計用紙を渡します。 会計終了後、領収書を病棟事務に見せて下さい。
清潔	入浴の希望があれば、検査終了後可能となります。入浴時間は夕方17時までです。使用する際は看護師にご相談ください。			入浴は退院後より可能です。

上記のとおり説明を受けました



費用: 1泊2日電気ショック治療は3割負担で5万円~6万円、1割負担で2万円程度となります

※食事代・自費(室料差額・入院セットレンタル・テレビ利用料等)は含みません。

※正確な金額は退院日にお知らせします。ご不明な点は病棟事務にお聞き下さい

2019年9月改定  
横須賀共済病院